

議第70号 宮川終末処理場汚泥焼却炉長寿命化工事（機械）請負契約の締結について
 議第71号 宮川終末処理場汚泥焼却炉長寿命化工事（電気）請負契約の締結について

1. 汚泥焼却施設の概要（新旧比較）

項目		旧（既設）	新
所在地		高山市冬頭町333番地	
構造	焼却炉棟	鉄骨造り 地下1階 地上2階建 延床面積 約680㎡	（新設） 鉄骨造り 地上2階建 延床面積 約522㎡
	電気棟	鉄筋コンクリート造 平屋建 延床面積 約370㎡	（既設利用）
施設概要	燃焼方式	流動汚泥焼却炉 脱水汚泥（含水率約83%）を約800℃に熱した砂に混ぜ瞬間的に焼却するもの	流動汚泥焼却炉（多層燃焼式） 炉の構造は既設と同じであるが、炉の中間部でも燃焼させ燃費を低減（省エネ）
	焼却能力	20 t/日	
	燃料	A重油及び消化ガス	
	汚泥供給装置	定量・連続供給式	
	燃焼ガス冷却装置	水噴射式、冷却温度200℃	— 〔セラミックフィルタを採用したことから不要〕
	ばいじん除去装置	バグフィルタ	セラミックフィルタ
	排ガス監視装置	温度・一酸化炭素濃度等の連続測定、記録	
焼却灰発生量	1か月約10 t		

※ 汚泥焼却施設：下水処理場の最終工程で生ずる汚泥を脱水処理したものを焼却する設備

2. 工期 平成31年3月20日まで

3. 工事箇所

